

SAP S/4HANA ソリューション

Add Value

新規導入

AP S/4HANA 商社向け導入テンプレート

Add-Value for Trading

SAP S/4HANA 製造業向け導入テンプレート

Add-Value for Manufacturing

簡易適合性の検証

Add-Value POCサービス

バージョンアップ

SAP S/4HANA 移行支援サービス

Add-Value for Migration

データ活用

SAP S/4HANA データ活用基盤

Add-Value for Insight

個別業務

SAP S/4HANA インボイス管理ソリューション

Add-Value for DX/インボイス管理 with Bill One

SAP S/4HANA 電子帳簿保存法ソリューション

Add-Value for DX/電子帳簿保存法

SAP S/4HANA 財務・為替管理ソリューション

Add-Value for Exchange

SAP Business Technology Platformソリューション

Add-Value for SAP BTP

SAP S/4HANA 電子記録債権/手形管理 アドオン製品

Add-Value for 電子記録債権/手形管理

SAP S/4HANA
商社向け導入テンプレート

Add-Value for Trading

国内取引や輸出入など、
商社業務に特化した機能を実装した、
SAP S/4HANA導入テンプレート。
SCSKが長年培った
商社でのSAPシステムの実績や
ノウハウをもとに開発し、
導入期間もコストも軽減。
効率よくSAP S/4HANAを
導入できます。

POINT 01

商社に必要な業務シナリオを網羅

商社の基幹業務に必要な機能を網羅。
SAP標準機能ではカバーできない日本固有の
業務シナリオに対応できます。



POINT 02

GTMの開発で得たノウハウを活用

商社向けのSAP標準モジュールをSAP社と共同開発。
そのノウハウを活用したシステム構築を行います。

※GTM=Global Trade Management



POINT 03

20社以上の豊富な導入実績

2007年以降、20社以上のお客様にご利用いただいています。



SAP S/4HANAソリューション

Add-Value

WEBサイトでご紹介しています
<https://www.scsk.jp/sp/sap/>



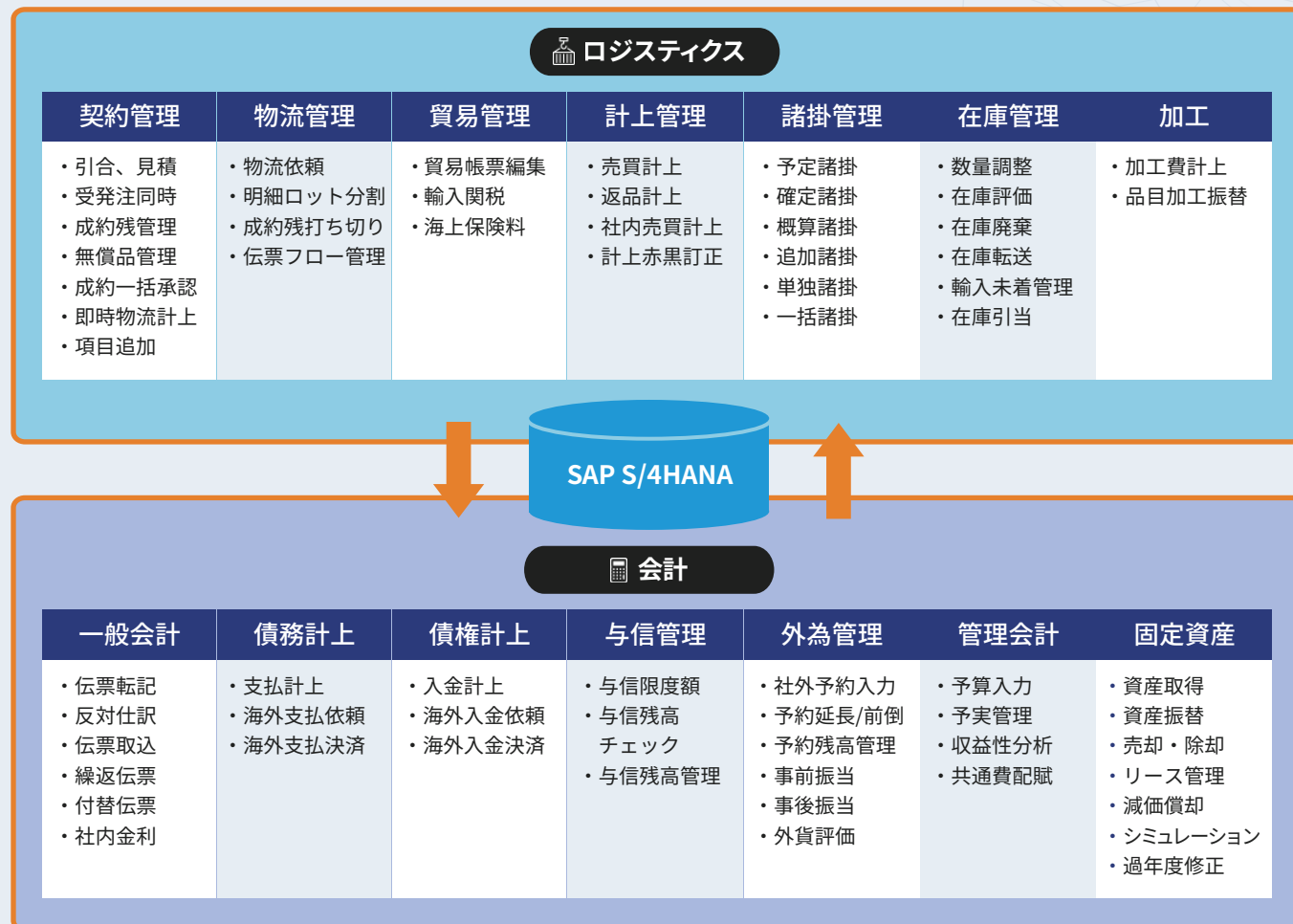
SAP S/4HANAの新規導入や効率的な移行などを支援する「Add-Value」シリーズ。
SCSKが長年のSAPシステム導入実績で培ったノウハウを、テンプレートやサービスとしてご提供します。

日本の商社特有の商習慣に対応した機能を実装

POINT 01 商社の基幹業務に必要な業務機能にスコープし、日本の商社特有の多様な業務シナリオに対応。

POINT 02 SAP社と協同開発したモジュールベースで、国内や輸出入、三国間貿易など、取引業務に必要な機能を標準装備。SAP標準機能にない、直送取引や諸掛管理も対応。

業務スコープ



日本特有の業務シナリオに対応

国内	直送、在庫仕入、在庫販売	返品	売上返品、仕入返品
輸出	直送、在庫販売	消込管理	支払依頼、入金依頼
輸入	直送、在庫仕入	在庫管理	置場移動、ステータス変更、組織間転送、目欠・目増・廃棄、商品振替、在庫単価変更
海外	直送、在庫仕入、在庫販売	諸掛	諸掛計上
金額調整	売掛金追加計上、売掛金赤計上、買掛金追加計上、買掛金赤計上	計上管理	計上分析

※詳細はWEBサイト (<https://www.scsk.jp/sp/sap/>) でご案内しています

ご相談はこちらから

✉ sap-info@scsk.jp ☎ 0800-500-4000

携帯電話でのお問い合わせ 03-6670-2990 【受付時間】9:00~18:00（土・日・祝日、年末年始、当社指定日を除く）

SAP S/4HANA
製造業向け導入テンプレート

Add-Value for Manufacturing



POINT 01

組立製造業の広い業務を網羅

自動車部品を中心とした組立製造業への豊富なERP導入実績から誕生。製造業向けの機能を広くカバーしています。



POINT 02

SAP社のパートナー・ソリューション 国内承認第一号

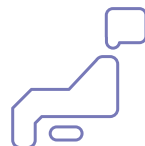
「短期間、低コスト、高品質で導入できる」SAP S/4HANAソリューションとして、SAP社に承認されました。



POINT 03

日本の商習慣を考慮した設計

SAP社のパートナーとして開発支援した「SAP Best Practices for SAP S/4HANA」をベースに、日本の商習慣を考慮した機能設計です。



販売、購買、生産、財務会計、管理会計など、組立製造業の業務領域を広くカバーするSAP S/4HANA導入テンプレートです。SAP S/4HANAの特長を最大限活用しながら、システム上の事前設定を提供。日本の商習慣や固有要件に対応します。

SAP S/4HANAソリューション

Add-Value

WEBサイトでご紹介しています
<https://www.scsk.jp/sp/sap/>

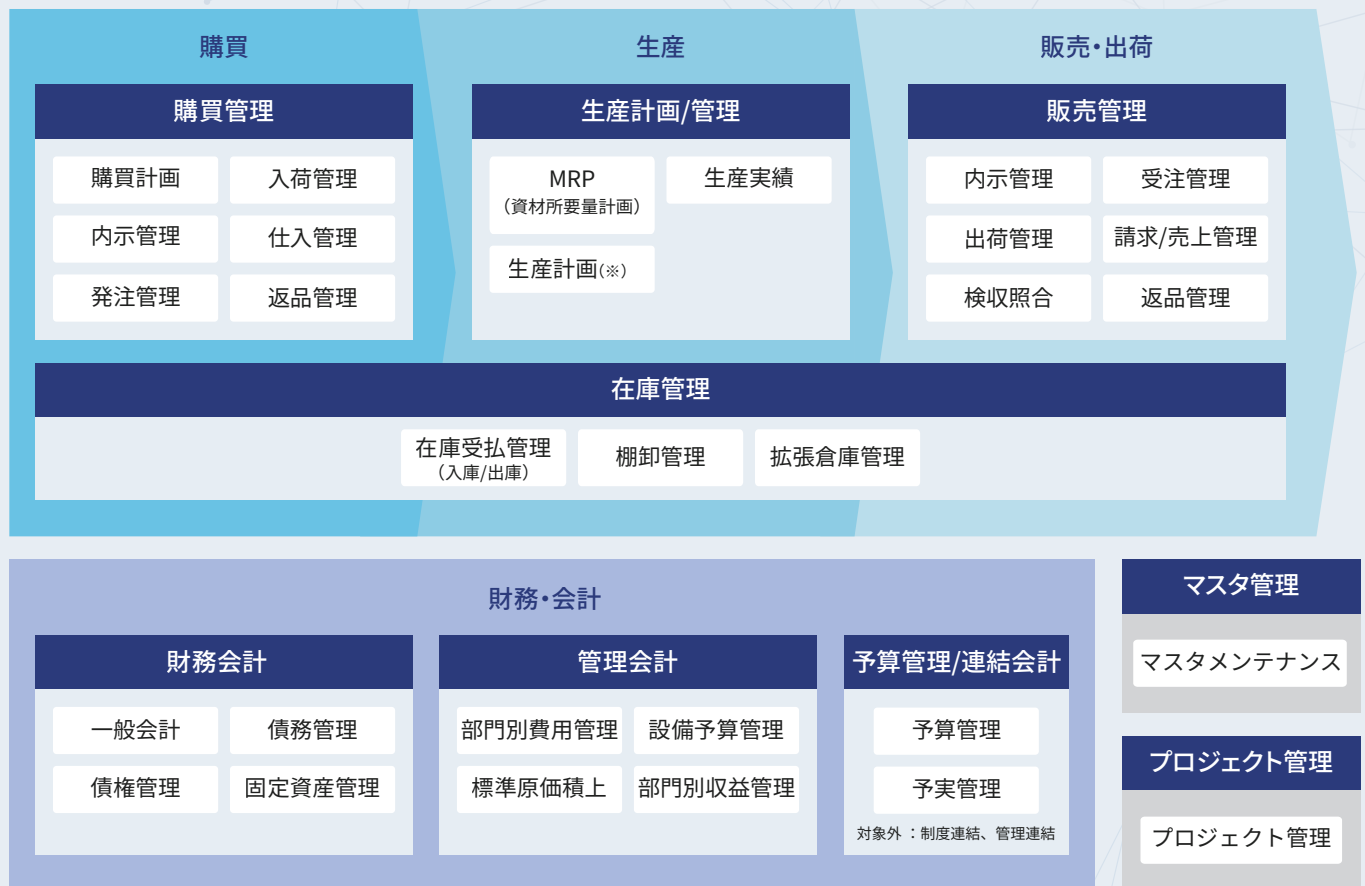


SAP S/4HANAの新規導入や効率的な移行などを支援する「Add-Value」シリーズ。SCSKが長年のSAPシステム導入実績で培ったノウハウを、テンプレートやサービスとしてご提供します。

組立製造業に必要な業務を網羅

業務スコープ

計106フローをカバー



※作業スケジューリング等は含みません

業務フロー

販売管理業務	受注業務、内示受注業務、出荷業務、 売上・請求業務、販売価格契約業務	棚卸業務	棚卸業務、月次計画立案業務
調達・支払業務	調達業務、価格契約業務、支払計算業務	財務会計	回収業務、債権回収、固定資産業務、 決算業務、販売価格契約業務
生産計画業務	年度計画立案業務、月次計画立案業務、 日次計画立案業務、製造管理業務	管理会計	年次予算策定業務、標準原価設定業務、 予算見直・実績把握業務、管理会計伝票・締め 処理業務、部門別業績管理・原価管理業務
在庫管理業務	在庫管理業務	共通業務	打切り業務、新規品立上げ業務、設計試作業務

※詳細はWEBサイト (<https://www.scsk.jp/sp/sap/>) でご案内しています

ご相談はこちらから

✉ sap-info@scsk.jp ☎ 0800-500-4000

携帯電話でのお問い合わせ 03-6670-2990 【受付時間】9:00~18:00 (土・日・祝日、年末年始、当社指定日を除く)

Add-Value POCサービス



約2カ月でできる SAP S/4HANAの簡易適合性検証

SAP S/4HANAを使い、自社業務との適合性を簡易検証できるPOCサービス。従来の検証手法と比べ短期間で実施できます。構築後の大まかな姿を可視化できるため、SAP S/4HANA導入検討や意思決定がスムーズになります。

SAP S/4HANAは自社の業務に
適合するのだろうか？



メインとなる業務プロセスだけでも
SAP S/HANAで検証してみないと、
怖くて手が出せない



Fit&Gap分析による適合性評価が有効、しかし...

従来

適合性を検証するだけでも、検証環境を自前で用意しなければならない

→ とても敷居が高かった

☑ SCSKのPOCサービスなら

約2~3カ月で実施できる！



SAPシステムのライセンス購入は不要。

クラウド環境にAdd-Value各種テンプレートを用いることで、簡易的に実施できます。

SAP S/4HANAソリューション

Add-Value

WEBサイトでご紹介しています
<https://www.scsk.jp/sp/sap/>



SAP S/4HANAの新規導入や効率的な移行などを支援する「Add-Value」シリーズ。
SCSKが長年のSAPシステム導入実績で培ったノウハウを、テンプレートやサービスとしてご提供します。

SAP S/4HANA標準をベースにした検証

POCは、メインとなる業務シナリオ（フロー）を検証対象として定め、簡易プロトタイプ検証を実施するものです。そのアプローチには下記の2種類が考えられます。本サービスは、①の「TO-BE業務を策定して検証を進めるアプローチ」ではなく、「SAP S/4HANAの標準業務プロセスをベースにして、メイン業務フローと照合する」という②のアプローチをとるため、約2〜3カ月という短い期間での検証が可能です。

アプローチ①

TO-BE 業務の策定後にプロトタイプ検証

検証ステップ

- AS-IS業務を整理して現状の問題点や課題をリストアップ
- 問題点や課題を解消するためのTO-BE業務を策定
- TO-BE業務を実現するための仕組みをSAP S/4HANA標準ベースでプロトタイプを構築し、TO-BE業務との適合性を検証

① 課題抽出 ② TO-BE業務策定 ③ プロト構築



時間・コスト制約から当該アプローチは
実際の導入プロジェクトにて実施

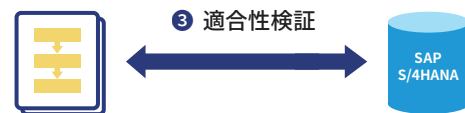
アプローチ②

パッケージ標準業務プロセスをベースとした プロトタイプ検証

検証ステップ

- AS-IS業務の中からTO-BE業務においても不変的なメインフローを数点抽出し、今回の検証シナリオとして位置付ける
- SAP S/4HANA標準ベースで構築したプロトタイプに対して当該メインフローを照らし合わせて適合性を検証

① メインプロセス抽出 ② 標準プロト構築



☑ POCの取るアプローチ

POCサービスの4つのプロセス

SAP S/4HANAの概念教育から、簡易プロトタイプ検証の結果報告まで、4つのプロセスで効果的かつコンパクトに実施します。SAP S/4HANAの適合度や構築コストが可視化できるので、導入の意思決定に役立ちます。

① 初期教育



② 簡易プロト準備



③ 簡易プロト検証



④ 結果報告



※詳細はWEBサイト(<https://www.scsk.jp/sp/sap/>)でご案内しています

ご相談はこちらから

✉ sap-info@scsk.jp ☎ 0800-500-4000

携帯電話でのお問い合わせ 03-6670-2990 【受付時間】9:00~18:00（土・日・祝日、年末年始、当社指定日を除く）

SAP S/4HANA 移行支援サービス

Add-Value for Migration



SAP S/4HANAへの移行を成功へ導くアセスメントサービス

影響分析からプロジェクト実施までに必要な作業をパッケージで提供するアセスメントサービスです。

アセスメントによって適合性や影響度などを事前に分析・見える化し、移行計画を精緻に立てることで、移行の効率化とリスク軽減をご支援します。

移行後のシステム変更点を把握した上で実行を進めたい...



計画通りの納期、費用、品質で移行できるのか？



移行による業務への影響を最小限に抑えたい...



移行を成功させるためには「アセスメント」が重要！



SAP S/4HANAへの移行は、従来の「SAP ERPのバージョンアップ」とは異なります。アセスメントによって適合性や影響度などを事前に分析・見える化し、移行の計画を精緻に立てることが成功のポイントです。

影響分析からプロジェクト実施までに必要な作業をパッケージで提供

Add-Value for Migration

SAP S/4HANAソリューション

Add-Value

WEBサイトでご紹介しています
<https://www.scsk.jp/sp/sap/>



SAP S/4HANAの新規導入や効率的な移行などを支援する「Add-Value」シリーズ。SCSKが長年のSAPシステム導入実績で培ったノウハウを、テンプレートやサービスとしてご提供します。

■ アセスメントに注力した移行支援サービス

本格的な移行の前にPOC環境を構築し、アセスメントで影響を分析。
分析結果をもとに改修部分を要件定義し、リスクを軽減しながら移行作業を実行します。



■ 調査報告書イメージ

3-4. アドオンアプリケーション分析結果

S/4HANAコンバージョンに伴い、修正が必要なオブジェクト (HR)

オブジェクト	総数 (本数)	エラー	エラーの割合
プログラム	1,000	10	1%
汎用モジュール	500	5	1%
クラス	200	2	1%
データエレメント	1,500	15	1%
構造	300	3	1%
テーブル	800	8	1%
合計	5,300	53	1%

3-1. 標準アプリケーション分析結果

S/4HANAコンバージョンに伴い、対応が必要なSAP標準アプリケーションの状況は以下の通りとなります。

影響あり機能: [円グラフ]

影響なし: [円グラフ]

代替あり: [円グラフ]

代替なし: [円グラフ]

確認の結果、影響が想定されるトランザクションは [] 件ありました。
上記 [] 件のうち、代替方法があるトランザクションは [] 件、代替方法のないトランザクションは [] 件となりました。
→代替方法ありトランザクションについては、SAPから提供されている対応方針での対応を基本とする。
→代替方法なしについては、顧客資産調査で実際に使用していないものにつき、対応は不要と判断する。

トランザクション	総数	影響なし	影響あり	代替あり	代替なし
トランザクション	1,000	800	100	100	0

4-3. コンバージョン：アセスメントでの実行時間

コンバージョン実行時間

中項目 (主な項目)	時間	アップタイム中 実行可
システムコピー	00:00	×
Note適用	00:00	○
Maintenance Planner	00:00	○
SI-Check	00:00	○
BPカスタマイズ	00:00	○
CV統合 (得意先/仕入先→BP)	00:00	○
データ整合性チェック	00:00	○
新機能前提チェック	00:00	○
確認用ポート出力	00:00	○
クラステーブルチェック	00:00	○
フルテーブルチェック	00:00	○
BDC不整合チェック/修正	00:00	○
DBマイグレーション	00:00	×
ロジック移行	00:00	×
モディファイケーション調整	00:00	×
カスタマイズ追加/移行	00:00	×
テスト移行	00:00	×

実行時間
ダウンタイム時間

■ コンバージョンプロジェクトを支援

長年にわたるSAPビジネス (テンプレート開発、導入支援、運用・保守など) で培ったノウハウを活かし、見落としがちな移行リスクを検知。効率の良い移行作業を支援します。また、SAP S/4HANAの新機能についても、導入テンプレートを活用しながらご支援します。

ご相談はこちらから

✉ sap-info@scsk.jp ☎ 0800-500-4000

携帯電話でのお問い合わせ 03-6670-2990 【受付時間】9:00~18:00 (土・日・祝日、年末年始、当社指定日を除く)

SAP S/4HANA データ活用基盤

Add-Value for Insight



DXにスピード感を！ 意思決定を迅速にするデータ活用基盤

収集・蓄積したデータを経営判断や業務改善に活用したいが、データを活用するための環境が整っていない、どのような基盤を作ればよいかわからないという企業が多いのではないのでしょうか。

重要な判断をタイムリーに行うためには、スピード感が大切です。
社内外のあらゆるデータを全社共通の基盤に集約しリアルタイムに提供することで、
データにもとづくスピーディーな意思決定を可能にします。
Add-Value for Insightは、SAP S/4HANAを中核としたデータ活用基盤を提供するサービスです。

データ収集と加工に
時間がかかり、
迅速な判断ができない...



複数の部門/システムに
データが散在し、
ほしいデータが見つけれない...



工場や営業など、
現場の従業員が直接データを
活用できる環境が整っていない...



社内外のあらゆるデータを速やかに統合する「データ活用基盤」が必要！



SAP S/4HANAや周辺システムからデータを収集・格納し、要件に合ったデータを素早く発見できる全社共通のデータ活用基盤を構築することで、経営層から工場や営業といった現場の従業員まで、誰もがタイムリーにデータを活用することが可能になります。

SAP S/4HANAソリューション

Add-Value

WEBサイトでご紹介しています
<https://www.scsk.jp/sp/sap/>

SAP S/4HANAの新規導入や効率的な移行などを支援する「Add-Value」シリーズ。
SCSKが長年のSAPシステム導入実績で培ったノウハウを、テンプレートやサービスとしてご提供します。

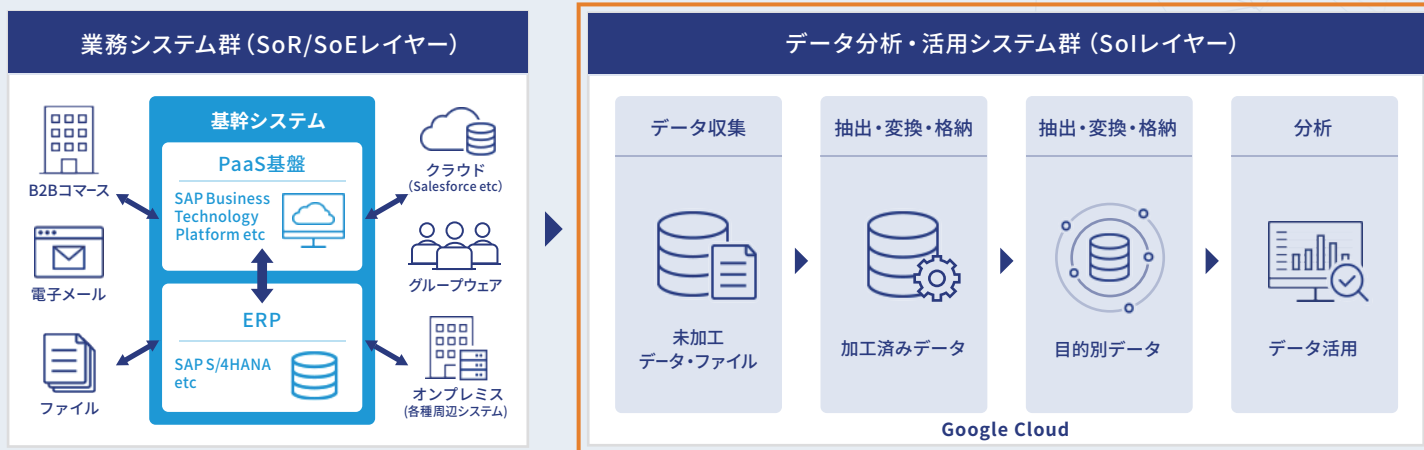


SoR/SoEのデータを速やかに統合するデータ活用基盤

SAP S/4HANAをはじめ、社内外のシステムからさまざまな形式のデータを収集/抽出/変換/格納します。また、情報を補完し、データカタログとして公開します。

オレンジ色の枠内：本サービスでのご提供範囲

データ連携 Informatica Intelligent Data Management Cloud



データカタログ Informatica Enterprise Data Catalog

Informatica（インフォマティカ）：データ活用にあつかわる課題を解決する、データ統合ソリューション。

SCSKが保有するインフォマティカ認定技術者数は国内トップレベルの延べ120件以上。高い品質でプロジェクトをリード。

データ活用基盤サービスの特長

さまざまなデータを迅速に集め蓄積

多種多様なシステムの接続部品が用意されており、新しく導入するシステムにもいち早く対応することが可能です。

目的のデータを素早く発見

- データの所在や意味からデータを見つけやすい状態にすることで、データを探索する時間を大幅に削減できます。
- 事前に定義されたSAP (SoR) やSalesforce (SoE) のデータ説明を利用することで、他業務ユーザーがデータを素早く発見できます。
- データ項目レベルでシステムを横断するデータの流れを追跡することで、データの所在を発見することができます。

データの品質の傾向を把握

データの品質の傾向を把握することで、すぐに活用できるデータか確認できます。

ご相談はこちらから

✉ sap-info@scsk.jp ☎ 0800-500-4000

携帯電話でのお問い合わせ 03-6670-2990 【受付時間】9:00~18:00（土・日・祝日、年末年始、当社指定日を除く）

SAP S/4HANA インボイス管理ソリューション

Add-Value for DX/インボイス管理 with Bill One

インボイス管理業務の効率化とDXをまとめて実現！ SAP ERPユーザー向けBill One連携ソリューション

インボイス制度や電子帳簿保存法の改正により、請求書管理の煩雑化と運用コスト増大という課題を抱えているのではないのでしょうか。

「Add-Value for DX/インボイス管理 with Bill One」は、SAP ERPとSansan社のインボイス管理サービスである「Bill One」を連携したソリューションです。

改正法や新制度による
請求書保存の義務化対応で、
請求書業務がさらに煩雑に...



SAP ERPへの仕訳入力や
会計処理業務を効率化し、
経理業務負担を軽減したい...



請求書支払における
承認プロセスの紙回付・
押印文化から脱却できず、
経理DXが進まない...



SAP ERPとBill One/intra-martの連携により 請求書業務の負荷軽減と経理DXを実現



請求書業務の各プロセスを独自のAPIでつなげることで、請求書受領とデータ化、支払伝票作成、承認ワークフローをシームレスに連携可能です。
各業務がシステム上でワンストップに実施可能となることで、運用コスト削減や業務効率化、ペーパーレス化に貢献し、経理DXを実現します。

SAP S/4HANAソリューション

Add-Value

WEBサイトでご紹介しています
<https://www.scsk.jp/sp/sap/>



Add-Value for DX/インボイス管理 With Bill One の特長

請求書業務の負荷軽減

請求書受領からデータ化、保管までの煩雑な業務をBill Oneで一元的に行うことで、請求書業務の負荷を軽減し、電子帳簿保存法にも対応します。

伝票作成業務の効率化

Bill Oneでデータ化された請求書情報をCELF*で取り込むことで、仕訳情報が自動セットされるため、ユーザーは伝票作成に必要な最低限の入力をCELF上で行い、入力完了後にSAP ERPへ連携するだけで未転記伝票が作成可能となります。

*SCSK独自のノーコード開発ツール「CELF」により構築された仕訳補完入力機能

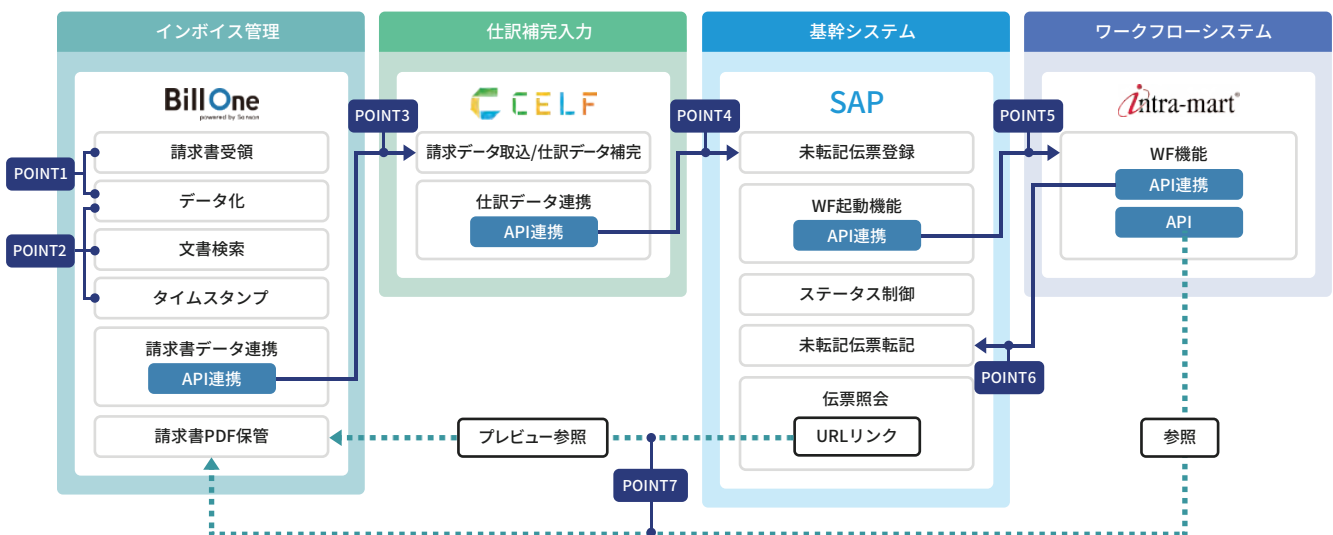
承認業務プロセスの電子化

請求書支払の承認プロセスを汎用性の高いintra-martのワークフローで構築することで、紙による回付や押印処理からの脱却を実現します。

各業務をシームレスに連携

請求書受領から伝票入力、承認、伝票転記までの一連の業務プロセスを独自のAPIでシームレスに連携させ、経理DXを実現します。

サービス構成



- POINT1** Bill Oneが請求書をワンストップ受領、データ化して一元管理
- POINT2** 電子帳簿保存法・インボイス制度に対応
- POINT3** データ化した請求書情報を取込み仕訳情報を自動セット
- POINT4** SAP ERPに未転記伝票を自動登録
- POINT5** 伝票情報をintra-martのワークフローに連携し自動起票
- POINT6** 承認完了時に伝票を自動転記
- POINT7** SAP ERPの伝票に登録されるBillOneのURLリンクから請求書を参照可能

ご相談はこちらから

✉ sap-info@scsk.jp ☎ 0800-500-4000

携帯電話でのお問い合わせ 03-6670-2990 【受付時間】9:00~18:00 (土・日・祝日、年末年始、当社指定日を除く)

SAP S/4HANA 電子帳簿保存法ソリューション

Add-Value for DX/電子帳簿保存法

電子帳簿保存法の改正により、スキャナ保存の基本要件が大幅に緩和され、電子取引データの保存が義務化されます。また、インボイス制度の開始も控え、業務負荷の増加が予想されます。今こそ、デジタル化を加速させ、バックオフィス業務の効率化に取り組むチャンスです。

電子帳簿保存法のシステム対応が求められる背景

2022年1月 電子帳簿保存法の基本要件の大幅改正

2022年1月に改正電子帳簿保存法が施行されました。スキャナ保存の基本要件の大幅緩和により、電子データ保存の利便性の大幅な向上が期待できます。また、電子取引データの保存が義務化されるため、システム対応が有効です。

【主な改正点】

- 承認制度が廃止
- 帳簿書類のデータ保存の要件緩和
- スキャナ保存の要件緩和
- 電子取引データ保存の厳格化
- 罰則規定の新設

2023年10月 インボイス制度運用開始

2023年10月よりインボイス制度の開始が予定され、経理処理等の事務負荷の増加が予想されます。証憑発行や入力、確認、処理、保存といった事務負担を軽減しつつ、業務を適正に処理するためには、システムの電子化が有効です。

2024年1月 電子取引における電子保存の義務化

2023年12月31日をもって、現行の法律上で認められていた「電子取引データの書面出力での保存をもって当該電磁的記録に代えることができる」という措置が廃止されます。

電子で受領した取引情報は、電子帳簿保存法の保存要件を満たし、電子のまま保存する仕組みが必要となります。













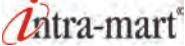

2024年1月 INS回線廃止

2024年1月時点でINS回線廃止に伴いインターネットEDIへの移行完了が必須です（ファームバンキング含む）。ネットワークインフラの移行と併せて、電子帳簿保存法を考慮した電子化対応が推奨されます。



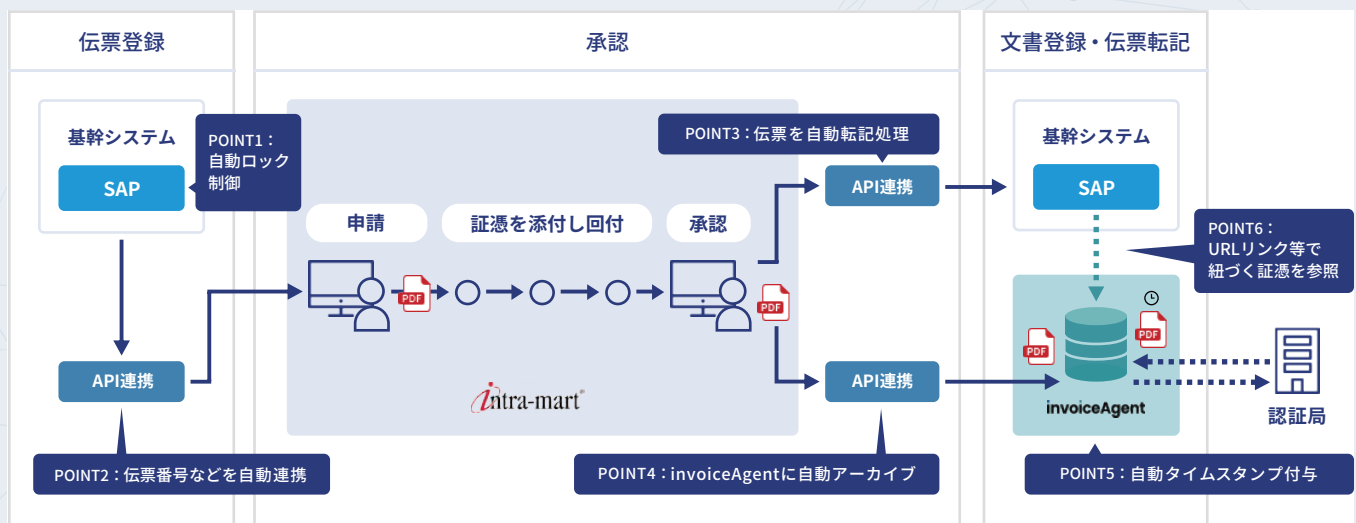
電子帳簿保存法対応ソリューション

SCSKでは、基幹システムから電子取引まで、お客様の要件に合わせた最適な組み合わせをご提案します。

対象	国税関係帳簿		国税関係書類		
	決算関係	取引関係	自社発行控え	相手から受領	電子で送受信
			見積書控え 請求書控え 納品書控え 送り状控え その他	領収書 請求書 契約書 見積書 その他	注文書 見積書控え 請求書控え 契約書 その他
・仕訳帳 ・総勘定元帳 ・補助元帳 ・固定資産台帳 ・その他	・貸借対照表 ・損益計算書 ・棚卸表 ・その他				・注文書 ・見積書控え ・請求書控え ・契約書 ・その他
要件	電子データのまま保存ができる		電子化して保存ができる		保存を義務付け
	最初の記録段階から電子計算機を使用して作成		紙をスキャンして保存		EDI/Fax/Mail など
申請区分	申請不要				
	電子データによる 帳簿の保存 (電帳法第4条1項)	電子データによる 書類の保存 (電帳法第4条2項)	スキャナ保存 (電帳法第4条3項)		電子取引 (電帳法第10条)
ソリューション	   		   		   
					
					

Add-Value for DX/電子帳簿保存法の特長

「ワークフロー+文書管理」をセットにしたソリューションであり、電子帳簿保存法の要件を充足する形で、「Intra-mart」「invoiceAgent 文書管理」とのAPI連携機能を標準装備しています。また、SAP ERP利用ユーザー様からご要望の多い、未転記ロックや自動転記といった機能も装備しています。その他の独自のご要望にも柔軟に対応可能です。



ご相談はこちらから

✉ sap-info@scsk.jp ☎ 0800-500-4000

携帯電話でのお問い合わせ 03-6670-2990 【受付時間】9:00~18:00 (土・日・祝日、年末年始、当社指定日を除く)

SAP S/4HANA
財務・為替管理ソリューション

Add-Value for Exchange

輸出入為替業務の高度化を実現する
テンプレート。100人月規模で開発してきた
機能群を短期間・低コストで導入可能です。
SAP S/4 HANAの取引データから作られる
外貨建債権・債務と連携し、
入出金決済・伝票転記まで対応します。
SAP Business Technology Platform (SAP BTP)
を活用したSide by Side開発で、
将来のバージョンアップへの影響を
最小限に抑制します。

POINT 01

為替が業績に与えるインパクトを把握

為替リスクを可視化する為替ポジションレポートを
製品仕様に反映。SAP S/4HANAとの連動性を高め、
リアルタイム更新を実現します。
組織別/全社合計でも為替リスクの確認が可能です。



POINT 02

本格的な社内為替予約制度を導入

ヘッジ対象への引当・実行・残高管理・時価評価に
至るまで、社内為替予約一連のプロセスを業務に
組み込むことが可能です。



POINT 03

外為規制に迅速に対応

SAP BTPに構築したテンプレートは可能な限りSAP S/4HANAと
疎結合となる製品仕様。
制度改定や業務変更への迅速な対応が可能です。



SAP S/4HANAソリューション

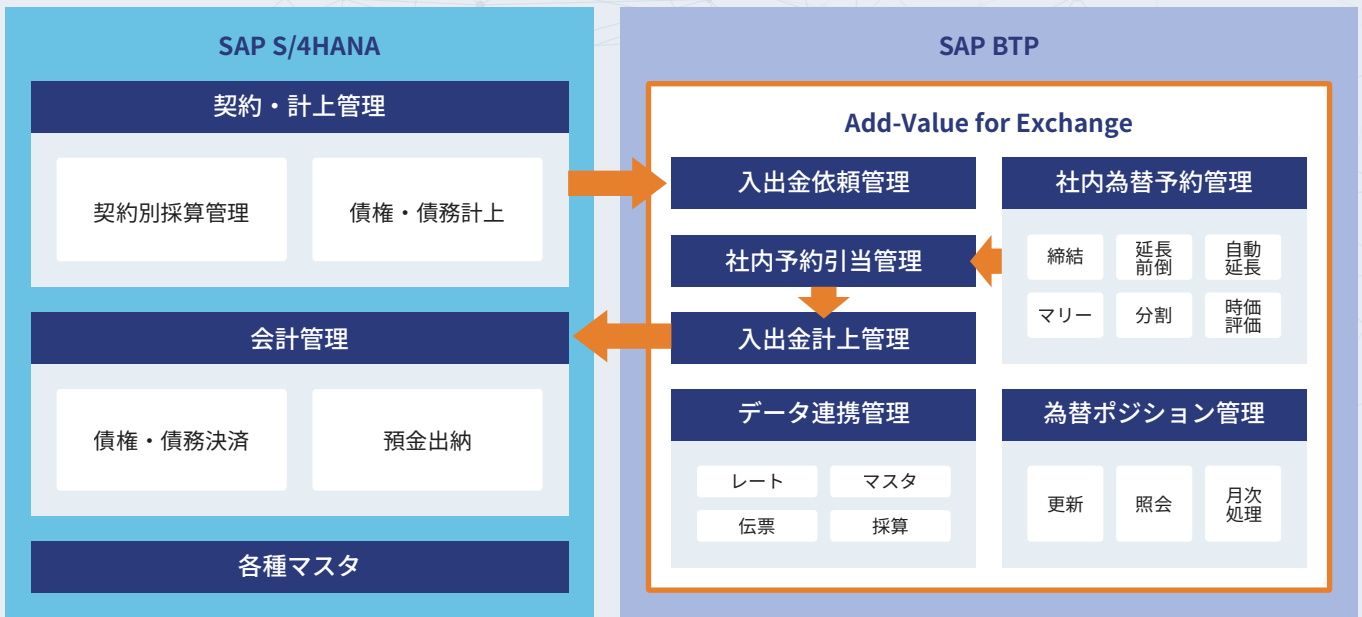
Add-Value

WEBサイトでご紹介しています
<https://www.scsk.jp/sp/sap/>



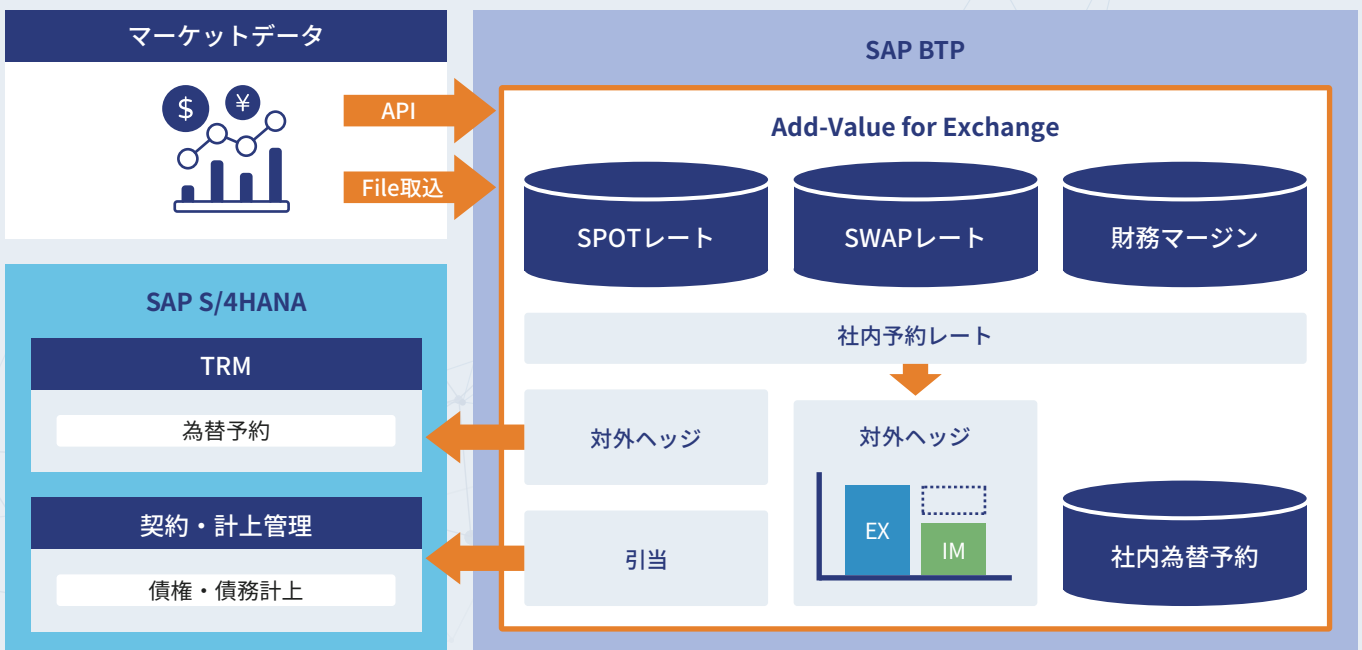
■ システム概要

入出金の依頼管理、入出金の決済処理、社内為替予約の管理、為替ポジションの管理をする機能を備えています。



■ 社内為替予約とマーケットデータの活用例

為替レートは外部金融情報ベンダーの配信サービスを利用して、リアルタイム配信をAdd-Value for Exchangeに取り込むことで、マーケットの変動を為替リスク管理に反映させ、管理レベルの向上に活用できます。社内予約のエクスポージャーに対して、取引銀行との為替予約締結を行うことにより、手数料負担の削減と包括的な為替リスクヘッジが可能となります。



ご相談はこちらから

✉ sap-info@scsk.jp ☎ 0800-500-4000

携帯電話でのお問い合わせ 03-6670-2990 【受付時間】9:00~18:00 (土・日・祝日、年末年始、当社指定日を除く)

SAP Business Technology Platform ソリューション

Add-Value for SAP BTP

SAP Business Technology Platform (SAP BTP) を有効活用 Core Cleanで運用・保守を効率化

SAP S/4HANAの新規導入およびマイグレーションでは、運用・保守の効率化を重視し、Core Cleanを前提とした導入が主流となっています。

また、SAP S/4HANAを軸としたDX推進のため、機能拡張開発や周辺サービスとの疎結合による連携が求められています。

SCSKは、いち早くSAP BTPに取り組み、独自の機能・部品を付加したソリューション「Add-Value for SAP BTP」を開発しました。

機能拡張(アドオン)は必要ながら、バージョンアップ時の影響を最小限におさえたい...



DXを加速するため、周辺サービス(SaaS製品など)と容易かつスピーディに機能連携させたい...



時流に合わせた技術基盤と自社でも維持保守ができるJavaなどオープンな技術を採用したい...



POINT 01

SAP BTP上に既に用意されているフレームワーク、ライブラリ、拡張ツールを利用し、SAP ERPと親和性の高いアプリケーションを疎結合で効率的に開発できる。

POINT 02

SAP BTPのデータ連携機能により、周辺サービスによる機能拡充を速やかに実現でき、システム高度化に貢献できる。

POINT 03

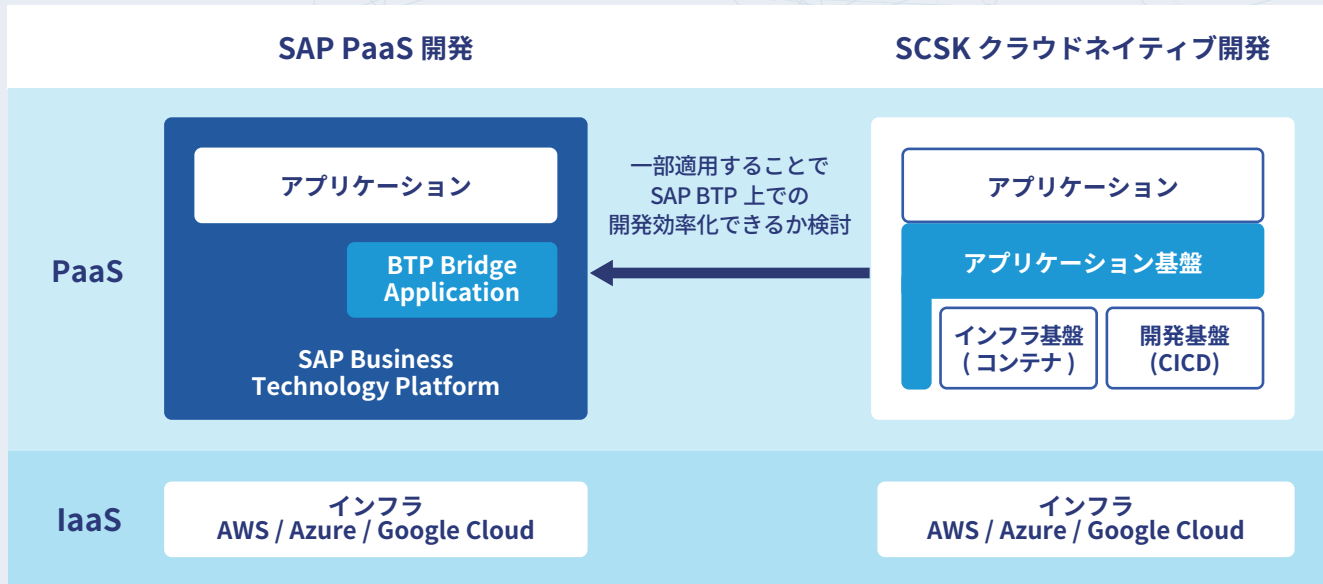
SAP BTPはJAVAベースでの開発が可能であり、SAP技術者不足、維持運用費用の適正化に貢献できる。



Add-Value for SAP BTPの特長

アプリケーション開発の効率化

クラウドネイティブ開発を効率化させるSCSK保有のアプリケーション基盤から、SAP BTP上に適用可能な機能を抽出し利用することにより、SAP BTP上のJavaアプリケーション開発を効率化します。



効率的な導入支援

SAP BTP活用のための開発標準や開発テンプレートの提供、SCSKならではのサービス体制により、投資効果の最大化に導くサービスをご提供します。

 開発標準	<input checked="" type="checkbox"/> 品質が確保されたサービス
 フレームワーク	<input checked="" type="checkbox"/> 開発生産性向上
 専門性の融合	<input checked="" type="checkbox"/> SAP ノウハウ+業界業務ノウハウ&Java 開発力 ERP 部門+業界特化部門連携シナジー

SAP BTPとは

SAP BTPは、SAP社が提唱する「Intelligent Enterprise」というコンセプトのもと、SAPアプリケーションを柔軟に開発・拡張するために提供されたクラウド統合技術基盤 (PaaS) です。アプリケーション、データベース、データ管理機能、アナリティクス、統合機能、拡張機能が一つに統合され、クラウド環境とハイブリッド環境の両方に対応しています。

SCSKの取組み

「Hack2Build SAP S/4HANA Cloud side-by-side Extension」※にて、Asia Pacific and Japan地区の「最優秀賞」を受賞

※ 「Hack2Build SAP S/4HANA Cloud side-by-side Extension」：SAP BTPの活用促進を目的に開催されたSAP SE主催のイベント



ご相談はこちらから

✉ sap-info@scsk.jp ☎ 0800-500-4000

携帯電話でのお問い合わせ 03-6670-2990 【受付時間】9:00~18:00 (土・日・祝日、年末年始、当社指定日を除く)

SAP S/4HANA 電子記録債権/手形管理
アドオン製品

Add-Value for 電子記録債権/手形管理

SAPシステムの標準手形機能をベースに、
日本固有の「電子記録債権要件」と
「手形管理要件」を付加した
アドオンソリューションです。
ハイクオリティな機能を
スピーディーに提供します。

POINT 01

販売実績140社以上

手形管理のデファクトスタンダード！
140社を超える導入実績をもつ、
便利で使いやすいシステムです。



POINT 02

でんさいネット対応

電子記録債権固有の業務にも対応。
手形管理に必要な50を超える機能と
レポートが利用できます。



POINT 03

最短1日でセットアップ完了

圧倒的な導入スピードで、
最短翌日から利用できます。



SAP S/4HANAソリューション **Add-Value**

SAP S/4HANAの新規導入や効率的な移行などを支援する「Add-Value」シリーズ。
SCSKが長年のSAPシステム導入実績で培ったノウハウを、
テンプレートやサービスとしてご提供します。



WEBサイトでご紹介しています
<https://www.scsk.jp/sp/sap/>



手形管理ご紹介動画
YouTube



■ 電子記録債権に対応

現物手形との一元管理はもちろん、固有の会計処理や業務に対応できます。
全銀電子債権ネットワークが運営する「でんさいネット」にも対応しています。

■ 日本固有の業務に対応

計50以上の機能とレポート、5つのアドオンテーブルで構成。
SAPシステム標準の手形機能ではカバーしきれない、日本固有の業務プロセスに対応します。

主な機能

 受取手形管理	顛末管理	取立、割引、裏書、担保、流動化など、多様な手形顛末を管理することができます。
	電子記録債権	現物手形同様、電子記録債権に関しても顛末を管理することができます。
	一括処理	各種顛末確定時や、決済時に一括で会計伝票を計上することができます。
	レポート出力	銀行依頼明細表、落明細表など、各種レポートの出力ができます。
 支払手形管理	分割機能	経済化分割、仕入先別の任意分割を設定することができます。
	採番管理	手形番号、手形管理番号の2種類の番号を管理することができます。
	支払信託管理	支払手形同様、支払信託の管理及びデータファイルを作成することができます。
	期日現金管理	支払手形同様、期日現金の管理及びデータファイルの作成、銀行手数料を計上することができます。
	電子記録債務	現物手形同様、電子記録債務に関しても一括決済処理することができます。
一括処理	期日指定で一括決済処理することができます。	
レポート出力	印紙税額一覧、落明細表など、各種レポートを出力することができます。	

※詳細はWEBサイト(<https://www.scsk.jp/sp/sap/>)でご案内しています

■ 受取手形管理/支払手形管理の各種業務プロセスに対応

受取手形や支払手形の情報(手形番号、振出人、支払期日、ステータス、印紙税、金額など)の一括管理が可能です。

ご相談はこちらから

✉ sap-info@scsk.jp ☎ 0800-500-4000

携帯電話でのお問い合わせ 03-6670-2990 【受付時間】9:00~18:00(土・日・祝日、年末年始、当社指定日を除く)



会社概要

商号：SCSK株式会社（略称 SCSK）
設立：1969年10月25日
資本金：21,285百万円
売上高：445,912百万円（2023年3月期 連結）
従業員数：15,328名（2023年3月31日現在 連結）

フルラインナップITサービス

～複数の事業部門が横断的に連携し、お客様に最適な製品・サービスを複合的にご提案・ご提供します～

■業種別事業

製造・通信システム事業
流通・メディアシステム事業
金融システム事業
商社・グローバルシステム事業

■ソリューション事業

ITマネジメント事業
プラットフォームソリューション事業
モビリティシステム事業
ビジネスソリューション事業

◆システム開発

お客様に対して、コンピュータを利用した業務の仕組み全体の設計や見直しに関する提案を行うとともに、さまざまな情報システムの企画・設計や導入・構築を行っています。

◆ITインフラ構築

コンピュータのハードやソフト、ネットワーク、サーバなどについて、お客様の組織構造、規模、業務内容、利用状況などに合わせて最適なものを選択し、最高の効率を実現する環境を構築しています。

◆ITマネジメント

お客様のITシステムの運用を担い、システム全体の安定稼働を目指し、安全性、信頼性、効率性を追求する観点から、システム稼働情報の収集と分析を実施。ITインフラの管理も含めた運用管理サービスを提供しています。

◆BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）

お客様の経営効率化と顧客満足度の向上、そして、お客様が新たなビジネス・サービスを創造するサポートとして、注文受付、商品配送手配、決済代行などのビジネス・プロセスの一部をサービスとして提供しています。

◆ITハード・ソフト販売

お客様の要求に合致したハード・ソフトの導入に関するコンサルティング、製品販売、カスタマイズ、保守および修理を行っています。さらに販売したハード・ソフトのアフターサポートサービスも行っています。